



# あゆみ

J C H O  
二本松病院

二本松市成田町1-553

TEL.0243-23-1231

FAX.0243-23-5086

<http://nihonmatsu.jcho.go.jp>

発行者: あゆみ編集委員会

## 平成27年度 J C H O 二本松病院運営方針について

副院長 柳沼 健之

昨年4月に発足したJCHO(地域医療機能推進機構)二本松病院では、JCHOの使命および病院の理念(今回は省略します)に沿って、本年度の病院目標を設定いたしました。すなわち「地域との連携を強化する」「地域住民のニーズにこたえる」「医療・介護機能を充実する」「地域包括ケアを推進する」「5疾病5事業に取り組む」ということです。ちょっと解りにくいので、かみ砕いて言うと、「病院・老人保険施設・訪問介護ステーション・健診部門が一体となって、この地域の人々の幸せのために役に立つように努力して行く」ということを目標に致しました。

「地域との連携を強化する」「地域住民のニーズにこたえる」とは自治体・医師会・薬局、他の医療機関や介護施設などと連携し、住民の皆様の健康や生活のお役にたつことです。そのために連携と共に「医療・介護機能を充実する」ことが重要と考えております。

「地域包括ケアの推進」とは、新しい言葉で解りにくいと思いますが、「高齢者が重度な介護状態となっても、尊厳を保ちながら住み慣れた地域において自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療サービスに加え、老健施設サービス、短期入所、通所リハ、訪問リハ、訪問看護等の複合的なサービスが一体的に提供される拠点として、病院が地域の包括的なケアの推進に努め

ること。」です。医療のみならず、いろいろなサービスが一体化(包括)して、住民の皆様が幸せな生活を続けられるようにしていくことであり、当病院も貢献できるように努めて参ります。

「5疾病5事業に取り組む」これも解りにくいのですが、5疾病とは「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」「精神疾患」のことを言います。また5事業とは、「救急医療」「災害時における医療」「へき地の医療」「周産期の医療」「小児医療」のことを言います。全国的な医師不足の中、一朝一夕では実現困難な課題もありますが、一步一步進んでいくことが目標です。

当院では毎年1度、全職員を対象に、その年度の病院方針を把握するために「全体会」を開いております。今年は4月30日に「全体会」行なわれ、全職員に上記の目標が伝えられました。職員全員で「一致団結」して、目標の達成に邁進して行く所存ですので、どうぞ宜しくお願いいたします。





# 内視鏡検査室が リニューアル しました。

内視鏡室

**内** 視鏡室では、食道・胃・大腸の検査を行っています。内視鏡検査は多少ならずとも苦痛を伴う検査です。私たちはその気持ちに寄り添い、技術的かつ精神的にも支援し、苦痛を少しでも和らげることを心掛けてスタッフ一丸となって対応させていただきたいと思っております。

この度、平成27年4月20日から、内視鏡検査室が1階に移転リニューアル致しました。各科外来にも近くなり、患者さまの移動距離も少なくなりました。内視鏡室内には、更衣室、ロッカー、トイレ、リカバリー室も設置し、患者さまには、より安楽に内視鏡検査を受けて頂けるような環境を整える事が出来ました。

また、部屋以外にも変えたことがあります。これまで胃内視鏡検査の時に実施していた注射は、お腹の動きを穏やかにして検査を進めていましたが、注射をしなくてもミントの成分で同じ効果を発揮できるミンクリアというお薬に変更しました。このお薬は、検査の途

中で内視鏡カメラの脇より胃の中に注入をしますので、緊張の中で実施していた注射をしなくて良くなりました。

さらに、検査前に行っていた麻酔は、喉の奥に10分間溜めておく方法で喉の麻酔を実施していましたが、検査直前に喉の奥にスプレーを噴霧して麻酔を行う方法に変更しました。麻酔を10分間溜めておく苦痛と途中でむせてしまうことなどの不安、注射の痛みなどが軽減されますので、今までよりも多少は苦痛なく検査を受けて頂けるのではないのでしょうか？

## 体調、いかがですか？

ご自分の体調が少しでもおかしいな？  
と思ったら早めに主治医と相談して診察、検査を行うようおすすめします。  
(内視鏡検査は診察後の予約となりますのでご注意ください。)



## 【内視鏡の担当医および検査日】

(内視鏡の予約は、内科外来を一度受診して下さい。)

	月	火	水	木	金
午前	—	岡部	山崎	山崎	成田
午後	—	高和 (予約)	永路 (予約)	柳沼 (予約)	成田 (予約)



# 充実した研修を受けた 新人ナースが 安心の看護を届けます

看護課教育委員 齋藤 美智子



佐藤菜穂さん

橋本花奈さん

平成22年に「新人看護職員研修」が法律の中に初めて謳われ、保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律が改正され、「新人看護職員研修」は努力義務化されました。

新人看護職員研修が、この様に重要視されてきたのには、様々な背景があります。以前から新人看護職員研修は行っておりましたが研修の時間は、それほど多くありませんでした。

しかし近年は、医療の高度化・複雑化、在院日数の短縮化による患者様の目まぐるしい入れ替わり、医療安全に対する国民の関心の高まり、看護基礎教育カリキュラムの臨地実習時間の減少・・・等があり、無免許の看護学生が十分な実践能力を身につけることが難しくなっています。ですから、就職してからの教育・指導が以前にも増して重要と叫ばれてきています。

また、経験を積んだ看護職員は、一旦仕事を離れたとしても、また看護職に戻るケースが多いのですが、新人看護職員が、1年以内に離職すると、看護職に戻ってこなくなり、転業してしまう傾向があるとも言われています。せっかく3~4年かけて、勉強し免許を取得してもそれを活かさないとしたら、本人にとっても、社会にとっても大きな損失です。特に福島県は、平成25年の新人看護職員離職率が、全国ワースト1でした。看護師不足が、慢性的な問題になっている地域にとって、新人が看護職から離れてしまうことは、ますます問題を深刻化させてしまいます。

幸いにも、二本松病院では、平成26年度採用の新人看護職員が離職することはありませんでした。こ

のことは、本人の熱意と関係者の協力の賜物と嬉しく思います。

新人看護職員は、1年間(4月1日~翌年3月31日)、黄色いストラップを首に下げていますので、前から見ても、後ろから見ても、すぐに新人と分かります。病院内で見かけましたら、職員の皆様は、部署を越え、丁寧なご指導をお願いいたします。また、病院に来院された地域の皆様・関係者の皆様におかれましては、暖かい励ましのお言葉をかけて頂ければ幸いです。

新人は、部署内での研修、月1回の集合研修と日々研鑽を積んでいます。教育委員会では、看護イベントや、毎月行っている新人看護職員集合研修の様子を、広報「はぐくみ」に載せて、お知らせしています。今後も看護活動にご理解とご協力をお願いいたします。



業者の方から酸素療法の説明を真剣に聞く新人ナースの  
佐藤さん(中央)と橋本さん(右)



# 老健

## ボランティア 委員会



## お花見ドライブに行ってきました!

4月15日、20日とお花見を兼ねたドライブに行ってきました。今年は桜の開花も例年より早く、施設の周りでも桜が薄いピンクの花を満開にさせたのを見て、利用者の皆さんも今回のドライブをととても楽しみにしていました。

15日は、2度目のドライブの日で霞ヶ城公園を經由し安達ヶ原のふるさと村に行ってきました。天気予報は雨でしたが、常日頃の行いが良く願いが叶い晴天のドライブ日和となりました。利用者の皆さんと見頃を迎えた桜を見ながら「綺麗に咲いたねえ」「来て良かった」「いい気分転換になった」と、うれしい声が聴かれました。

また、ふるさと村の池の周りでお花見団子をみんなで食べました。なかには普段あまり食べない方が、団子を美味しそうに頬張っている姿や、あまり表情を表わさない利用者の方が桜の花を見て満足そうな笑顔で会話をしている姿を見ると大変微笑ましく、利用者の方、職員みんなの笑顔も桜に負けないうらい満開になったドライブでした。

20日は、3度目のドライブの日でしたが、二十四節気

の一つ「穀雨」で生憎の雨となってしまいました。霞ヶ城公園から安達ヶ原のふるさと村の桜も見頃を過ぎてしまったため、前回とは目的地を変更し、岳温泉の鏡ヶ池周辺と馬場平を回り、約2時間のドライブをしてきました。生憎の雨でしたが、利用者の皆さんにも喜んでいただく事ができ、楽しいひとときを満喫し、惜しみながら施設へと帰って来ました。

今後も、利用者の皆さんに楽しんでいただけるような様々な行事を企画したいと思います。



栄養管理室では、患者さんに行事食を提供しています。

今月号は、桜の満開の時期に提供した、お花見弁当を紹介いたします。

メニュー  
紹介

桜寿司・お刺身(まぐろ・甘海老)・白菜の胡桃和えおしんこ  
すまし汁・花見団子

## 編集後記

桜の時期も終わり、つづいては新緑の季節、ツツジ・牡丹・クマガイソウ・紫陽花など沢山の花を觀賞して心穏やかな素敵な1日に見ませんか。

素敵な一日がはじまりますよ・・・

K・S記